
未来を変える選択 ～ グリーン人材を社会で共創する ～

2025年9月20日

日本製鉄株式会社顧問、
三千年の未来会議代表理事、
元環境事務次官

中井 徳太郎

公益財団法人「三千年の未来会議」は、現代文明が人類の生存環境を蝕んできたことに気づき次の一千年を超えて生命を繋ぐため、地球環境の保全・改善に貢献する日本の経験と知見、さらに科学技術の成果を世界に発信することを目的とし、その目的に資するための事業を行います。

①地球環境の保全・改善に関する情報発信

②地球環境の保全・改善に関する活動への助成

大義

三千年の未来会議
財団

宗像国際環境会議

環生塾

- トリプル・サステナビリティ
- Glocal SDGs
(流域の地域循環共生圏)

伊勢会議

Glocal SDGs
フォーラム

国内・ローカル展開

実践

いのち・ちきゅう・みらい
プロジェクト

みづち

万博

三千年の未来機構 (仮称)
・シンクタンク・メディア
・トリプルサステナ認証
・ファンド

国外展開

日印サーキュラー
エコノミーファンド

- 中国
- 米国
- イギリス
- インド
- ニュージーランド
- インドネシア e.t.c

「3つの移行」と 地域循環共生圏の創造

「3つの移行」で経済社会をリデザイン（再設計） ⇒地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造

カーボンニュートラル（脱炭素）

- 地域脱炭素の推進
- (株)脱炭素化支援機構の出資制度
- 住宅建築物のZEH・ZEB化推進
- 断熱窓への改修促進
- 商用車の電動化促進

サーキュラーエコノミー（循環経済）

- プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーン脱炭素化のための設備高度化
- バイオマスプラ、SAF、PV、金属、地域廃棄物バイオマス等の省CO2化実証
- 持続可能な廃棄物処理体制構築

ネイチャーポジティブ（自然再興）

- 30by30目標達成に向けた国立・国定公園の新規指定等の推進
- 民間取組の認定等によるOECM推進
- 国立公園満喫プロジェクト

移行を支える取組

GXと相乗効果を発揮する重点投資分野

- ① GX×「人への投資」
- ② GX×「科学技術・イノベーションへの投資」
- ③ GX×「スタートアップへの投資」
- ④ GX×「デジタルトランスフォーメーション(DX)への投資」

G7日本開催を契機とした取組

- ① G7日本開催を契機とした環境外交での主導的な役割の発揮
- ② アジア・ゼロエミッション共同体構想等に貢献する途上国の包括的な脱炭素移行支援

人の命と環境を守る基盤的取組

- 水俣病、石綿飛散防止対策、エコチル調査、有害物質（PFAS等）対策
- 海岸漂着物対策、外来生物対策、指定管理鳥獣捕獲支援

東日本大震災からの復興・再生

- 中間貯蔵施設の整備・管理、除去土壌の減容・再生利用
- ALPS処理水海域モニタリング、放射線健康管理・健康不安対策

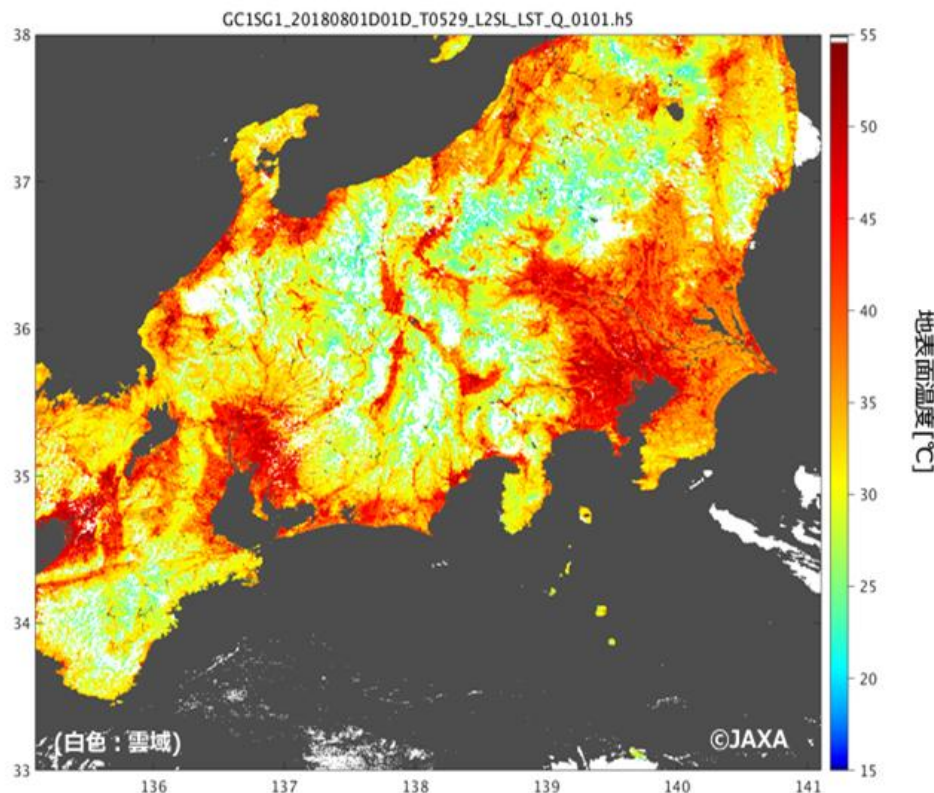
流域の地域循環共生圏 / Local SDGs から Glocal SDGsへ

- 地域資源を活用して**環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカルSDGs事業）**を生み出し続けることで**地域課題を解決し続け、自立した地域をつくる**とともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「**自立・分散型社会**」を示す考え方。
- 地球沸騰の気候変動を克服するため、**流域の上・中・下流域の連携**、そして、**流域間の連携**によって、レジリエンスと地域資源の持続的活用を促進する
【**流域の地域循環共生圏（Glocal SDGs）**】へ

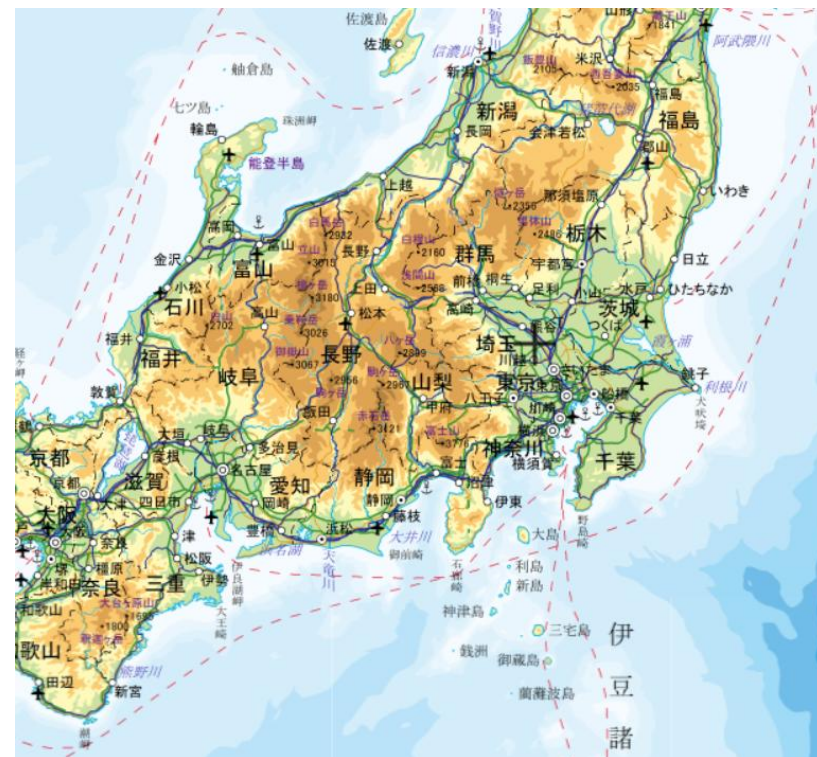
Glocal = Global + Local



都市部の危機と流域連係によるリデザイン



人工衛星GCOM-Cによる**地表面温度分布**の例
(JAXA/EORC「(地球が見える)より転載)



地理院地図 (電子国土WEB)

【都市部の危機】 ○浸水危険度、○地表面温度、○地震時の液状化危険度



生命の危機を回避するための居住地移転を【流域連携】で考えることが必要か

カーボン・ニュートラル・オフィサー養成プログラム「環生塾」との連携

環生塾（<https://kanseijyuku.igrid.co.jp/>）とは...

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、環境・脱炭素に関する高度な知識・情報をもつ「高度環境人材」の育成が急務な中、環生塾では、この高度環境人材を「カーボン・ニュートラル・オフィサー（CNO）」と位置づけ、育成のため「環境」「エネルギー」「経済」に精通した学者、研究者、各分野のスペシャリストの方々をお招きし、「脱炭素」に特化したCNO育成プログラムを提供しています。

- ・ 日 程： 月一回 18時～ 開催
- ・ 場 所： TKP新橋汐留カンファレンスセンター 5F「5B」
- ・ 監修/統括： 武内 和彦
- ・ 塾長/プログラムディレクター： 中井 徳太郎

監修・総括



武内 和彦

公益財団法人 地球環境戦略研究機関
(IGES) 理事長
東京大学未来ビジョン研究センター
(IFI) 特任教授

私たちはいま、地球環境と人類社会の「未来を決する 10 年」(Decisive decade) の真ただ中にいます。20 世紀後半以降の加速的な経済成長と、それがもたらした自然破壊、都市化、グローバル化は、地球規模の気候変動や自然災害の激化、生物多様性の損失をもたらしています。

こうした危機的状況を反転させ、地球環境が許容する範囲 (Planetary boundaries) 内での成長を求める新しいパラダイムの構築が求められています。そのためには、細分化された学術体系を再統合化し、地球持続性 (Global sustainability) に貢献する俯瞰型科学としての「サステナビリティ学」の構築と、それを基盤とする「脱炭素社会」「資源循環社会」「自然共生社会」の統合的実現を目指す「地域循環共生圏」の構築が不可欠です。

この「環生塾」が、グローバルな観点から、地球環境と人類社会が抱える問題の緊急性を深く認識するとともに、希望に溢れた持続可能な経済社会の構築につながる様々な取り組みを実践的に学び、統合的・俯瞰的な観点から問題解決につなげていく道筋を学ぶ場になることを心より期待しています。

塾長



中井 徳太郎

一般財団法人 三千年の未来会議
代表理事
日本製鉄株式会社 顧問
元 環境事務次官

世界は気候危機に直面しています。化石燃料・地下資源に依存した大量生産・大量消費・大量廃棄の経済パラダイムは、便利で豊かなライフスタイルを可能にした反面、自然生態系のバランスを壊し、人類の生存基盤を棄損した結果、今日の危機を招きました。我が国は失われた 30 年とも言われる時を経て、2020 年 10 月の 2050 年カーボンニュートラル宣言を契機に、これまで劣化・脆弱化してきた経済社会をいよいよ本格的に建直す局面に入りました。経済界を中心にこのことに覚醒し、サステナブルな経済社会に向けて本腰が入ったと言えます。それをサステナブル金融が後押ししています。

目指すべきは、気候変動 1.5℃目標と SDGs の同時達成、すなわちカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー・ネイチャーポジティブへの移行を通じた「地域循環共生圏」の創造です。人類そして我が国にとっての勝負の 10 年に、その実現の担い手である皆さんが、「環生塾」でそれぞれの叡智を結集し、大いに学び、事業に活かされることを期待しております。そして 22 世紀に向けて地域や地球が健康体でサステナブルな社会を確信できるような経済社会のパラダイムを発信し、ムーブメントを広げていきましょう。

いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト

【気候危機からのふるさと創生】

- ✓ 化石燃料の消費により海洋に蓄積された膨大な熱エネルギーは地球沸騰へ。
- ✓ 異常降水による河川氾濫や干ばつを引き起こし、ふるさと壊滅の危機へ。

◆水の精霊は、龍神や大蛇が暴れることにより人々に警告を発する。

- 龍神・大蛇・みづちは「美しきふるさと」を願う魂の結集
- 日本の伝統文化、芸術を世界に。

【いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト】

2025年大阪・関西万博に向けて、全国の「水」への祈りを表した

「龍神」「大蛇」「みづち」

の起源に立ち返り、全国から結集し、日本人の魂を世界に発信。

- ① びわ湖ホール：地球の叫び「みづち」を総合芸術オペラで世界に
- ② 万博会場：国内外の祭りを結集
- ③ Glocal SDGs：全国の「流域の地域循環共生圏」を連携し、国内外に発信

第1回Glocal SDGs全国大会 in びわ湖 2025.6.28-29

エクスカーショ

—— 流域探求の旅 ——

淀川流域



近江商人ツアー ～三方よしの
ルーツと今～

[詳しく見る >](#)

淀川流域



淀川の舟運とうなぎ復活

[詳しく見る >](#)

淀川流域



冬虫夏草ツアー ～人と自然の
境界のない世界～

[詳しく見る >](#)

分科会

—— 流域課題の掘り下げ ——



テーマ：みらいへの投資（第1
回 Glocal SDGs 全国大会 in 琵琶湖）



テーマ：地域経済循環 近江商
人文化の再生（第1回 Glocal
SDGs 全国大会 in 琵琶湖）



テーマ：地域の流域連携（第1
回 Glocal SDGs 全国大会 in 琵琶湖）



ご静聴ありがとうございました。



公益財団法人 三千年の未来会議

<https://3000-mirai.jp/>